

## 選択講習（6時間）

|                   |                     |  |
|-------------------|---------------------|--|
| 講習名               | 【選択】小説の解釈に正解はありますか？ |  |
| 実施日時              | 教室                  |  |
| 8月1日（木）8：50～17：10 | 未定                  |  |
| 持参物               | 筆記用具                |  |

### 【講習概要】

小説は説明不足である——小説のわかりにくさを説明する際、私はこのように説明する。誤読の多くは読み飛ばしや勘違いによるものだが、本文に明確な根拠のある小説解釈が複数成り立つことがあるのは、読者が説明の不足を補いながら読まなければならないという、小説特有の事情が関係している。アーノルド・ローベル「おてがみ」、立松和平「海の命」、太宰治「走れメロス」などの定番教材を用いて、「正解」について考えたい。

### 【講習の目的】

魅力ある授業づくりのためにも、教材研究は欠かせない。「小説の解釈に正解はありますか？」という問いを足がかりに、ちょっとした表現の差異によって意味が大きく異なってくる小説の、教材研究の要点を習得する。

講習で扱う教材は小中学生でも読めるものであるが、議論百出で、われわれ教員も含めて正確に理解することが難しいものを選んだ。

### 【到達目標】

感性に頼ることなく、(児童・生徒にも伝わる) 根拠に基づいた授業を行うために、自分の解釈や工夫を客観視することができるようになる。

### 【試験方法】

筆記試験 40 分。「走れメロス」について試験します。当日までに、できれば何度か読んできて下さい。

### 【評価の観点】

- ・根拠にもとづき説得的に、小説の解釈を言語化できているか。
- ・工夫（学習者への働きかけ）をしっかりと意識しているか。

### 【受講に際しての参考図書】

西林 克彦『わかったつもり 読解力につかない本当の原因』光文社新書、756 円

私自身が「国語」という教科において、児童・生徒・学生にどのような学力を身につけさせなければならないか、教えられた名著。四千円くらいの値打ちはあると思う。

**【講習全体スケジュール】**

| 時間帯         | 内 容                           |
|-------------|-------------------------------|
| 8：50～9：10   | 受付                            |
| 9：10～9：20   | オリエンテーション【事務】                 |
| 9：20～10：30  | ◆導入<br>文学教材の多義性について           |
| 10：30～10：40 | 休憩                            |
| 10：40～12：00 | ◆演習<br>アーノルド・ローベル「おてがみ」(小1、2) |
| 12：00～13：00 | 昼休憩                           |
| 13：00～14：30 | ◆演習<br>立松和平「海の命」(小6)          |
| 14：30～14：40 | 休憩                            |
| 14：40～15：20 | ★試験(筆記)                       |
| 15：20～15：30 | 休憩                            |
| 15：30～16：50 | ◆演習<br>太宰治「走れメロス」(中2)         |
| 16：50～17：10 | 事後評価アンケート記入・事務連絡等             |

※ 遅刻・早退は認められません。

**【講師紹介】**

| 担当者   | プロフィール               |
|-------|----------------------|
| 山本 欣司 | 文学部教授(日本近代文学(小説の解釈)) |